

福井

福祉の情報てんこ盛り!!



特集：おりがみツリー“TUNAGU”再生プロジェクト



目次

おりがみツリー“TUNAGU”再生プロジェクト・・・	1
地域窓口相談員連絡会／おりがみツリー“TUNAGU”再生プロジェクト・・・	2
いいあんべー家だより／はばたきだより・・・	3
お知らせ・・・	4

編集・発行



社会福祉法人
西原町社会福祉協議会

〒903-0111

沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地

TEL 945-3651 FAX 946-6777

URL www.nisya.net

E-MAIL nisya@nisya.net

「福井」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、沖縄県補助事業等によって作成されています。

「おりがみツリー」 TUNAGU “再生プロジェクト”

おりがみツリーとは、沖縄県立南部医療センター、こども医療センターに入院や通院される子ども達や家族をはじめ、関係機関の方が心をこめて折ったおりがみ作品をクリスマスツリーとして組み立て、南部医療センター小児病棟ロビーに展示されたもので、闘病生活を送る子ども達が病院という閉鎖的な環境の中で、社会との疎外感、孤立感を少しでも和らげ、多くの方と繋がっていると感じ、病気に立ち向かう勇気や明日への希望などの強い想いが込められた作品です。

これまでは毎年神社でお焚き上げをしていたものを、今回は初の試みで、おりがみを再生紙に生まれ変わらせる為におりがみに付いているホチキスやビニールタイを外す作業を、西原町社会福祉協議会に依頼があり、町内小中学校の子ども達を中心に呼びかけをし、2月15日(土)西原町社会福祉センターにて「おりがみツリー」TUNAGU “再生プロジェクト”を開催しました。

当日は小学5年生、中学3年生までの約90名の学生と保護者数名が集まり、南部医療センターでおりがみツリープロジェクトを立ち上げた小児科医の利根川医師の講話を聴きました。おりがみツリーの作成に至る思いや経緯から、小児病棟で病気と闘っている子ども達や入院中におりがみを折る事で心がほぐれていく子ども達のこと、完成したおりがみツリーを見て子ども達が元気や希望をもらっていること、また今回の「TUNAGU」プロジェクトを通して、参加してくれた子ども達とのつながりが出来たことなどを話して頂きました。

作業は2万枚の心のこもったおりがみ作品から一つひとつ丁寧にホチキスを取り外す地道な作業が中心となりましたが、おりがみに書かれている願い事やメッセージを見て色々な思いを感じ取った子ども

達の姿が多く見られました。「自分と同じくらいの年の人たちが病気と一所懸命にたたかっている、メッセージをひとつひとつ読んでみると、こんなに頑張っている子がいるから自分も頑張ろうと思えるようになってになりました」「今日のボランティア活動を通して、命の大切さを改めて感じる事ができました」「またこのプロジェクトに参加したいです」など学生からの感想が溢れました。

今回、このプロジェクトに関わったみんなの気持ちがつながる事で大きな力になり、つながったみんなが元気になっていく事を学びました。プロジェクトを体験した学生達がおりがみツリーを通してたくさんの人とつながり、「自分自身が社会(地域)で出来ることは?」などを考える機会となり、地域社会を支え合う心(ボランティア精神)の育成・情操教育につながることを期待しています。



みんなて想いを繋ぎました!



「地域窓口相談員連絡会を開催しました」

2月7日(金)に「地域窓口相談員連絡会」中学校圏域別」を開催しました。今回の連絡会は中学校圏域別に開催し、各自治会の地域窓口に寄せられた相談内容や解決方法、抱えている悩み事、各自治会での取り組み事業内容を皆で共有しながら地域を超えた相互扶助、相談員及び自治会による抱え込みを防ぐことを目的に開催しました。

相談員からは活発な意見が出され、誰もが安心して暮らしている地域づくりに向けた気持ちがとても現れていました。

ちよつとした困りごと・・・、誰に相談していいかわからない・・・、町の相談室へ行くまでもないけれど・・・。話を聞いてもらうことで心の負担が軽くなることもあります。

どんな小さなこと、ゆんたくだけでもかまいません。

気軽に地域の公民館を訪れてみてはいかがでしょうか。町内28自治会の地域公民館において相談窓口を開設していますので日時など詳しい事は各自治会公民館か社会福祉協議会までお問い合わせください。



西原町介護予防拠点施設



開館日：毎週月曜日～土曜日 時間：9時～17時 休館日：日曜日・祝日・年末年始・慰霊の日(6月23日)
対象者：西原町在住・在勤の40歳以上の方 利用料：100円【マッサージ器具などを利用できます】
場所：西原町字与那城135番地(中央公民館隣) 電話：098-946-1734

やー **いいあんべー家 だより** やー

令和2年度 **じんぶん教室**

じんぶん教室とは、65歳以上を対象とした、介護・認知症予防を目的とする教室です。主な内容は、体操や講話、作業活動・などを予定しております。

〔日程〕
・5月12日～8月25日までの毎週火曜日
10時～12時(全16回)



〔場所〕
・西原町いいあんべー家
申込み期間4月1日(水)～4月25日(土)まで(定員25名)
※指定の申込書があります。申込希望の方は、いいあんべー家までお越し下さい。

ロコフィット体操教室

4月6日(月)よりスタート！月・水・木
☆月・水曜日は、2回に分けて体操教室を開催します！
① 10時～10時45分(先着25名まで)
② 11時～11時45分
※月曜日と水曜日は受付時間を9時30分からとし、先着順にさせていただけます。

☆木曜日は、男性限定のロコフィット体操「男塾」を開催！

●対象 ・西原町在住、在勤40歳以上
・運動制限の無い方

●受講料
・無料(参加希望者は、申し込みが必要です。)
●持ち物
・動きやすい服装、室内シューズ、飲み物、タオル等



2月に沖縄県内において新型コロナウイルスの感染者が発生いたしました。西原町内での感染、感染拡大をできる限り抑えるため、2月はいいいあんべー家を閉館致しました。町民の皆様にはご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

はばたきだより

○営業日
毎週月曜日～金曜日
(土・日・祝日は休み)
○開所時間
8:30～17:15
TEL:943-6251

はばたき新年会

去った1月24日(金)西原町社会福祉センター(大広間)で、はばたき新年会を開催しました。はばたきの利用者が中心になり会場の準備・装飾も行いました。新年会には利用者の家族だけでなく、移動支援事業所のヘルパーさんや相談支援事業所の相談員の皆さんも駆けつけてくれ、たくさんの人と一緒に新年会を楽しみむ事が出来ました。幕開けでは、「さんしん」が好きな利用者、職員、保護者のメンバーで、この日のために練習してきた「安里屋ユンタ」、「芋の時代」、「めでたい節」の3曲を披露しました。また、お笑い芸人さんの持ちネタをはばたき風にアレンジしたものの一発芸として披露したり、マジックショーをしたり

するなど利用者が中心となり会を盛り上げてくれました。
2020年の目標を発表する場面で「2020で、ダイエットを頑張ります」、「ヘルパーさんと一緒に那覇に行きたい」など利用者の希望溢れる声が聞けました。美味しい食事を食べながら余興を楽しみ、笑顔いっぱい時間を過ごすことが出来ました。今年も利用者共々笑顔で楽しくお仕事頑張っていきたいです。



高齢者に関わるご相談は、西原町地域包括支援センターへ

西原町地域包括支援センターは、高齢者の健康・医療・介護・福祉に関する相談に応じ、住みなれた地域で安心して自立した生活を送ることができるように設置されています。

同センターでは、社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーの各専門職が、地域で暮らす高齢者のみなさんがかかえる課題や問題などに、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的に対応します。



場 所:西原町字与那城135番地
(西原町社会福祉センター内)

電 話:098-882-0117

F A X:098-882-0881

営業日:月~金 8:30-17:15

(土日祝日・慰霊の日・年末年始休み)



華やかな新年の幕開け 西原町内福祉団体「初うくし」

1月30日(木)町中央公民館ホールにて、町内福祉団体が一堂に集い、新たな一年の幕開けを共に祝い、相互の親睦とさらなる連携を深める目的で「初うくし」が開催されました。当日は、町内福祉関係19団体(137名)が参加し、新たな一年の幕開けを共に祝いました。西老連三線同好会による「かぎやで風節、恩納節、ごえん節で幕開けし、町ボランティア連絡会による「良い正月やいびんや〜」、西老連琉舞同好会による「収納奉行」、町母子会による「創作ダンス(夢の中へ)」の余興で会場は大変盛り上がりしました。



☆司会 新川 千代子さん

西原町社会福祉協議会・障がい福祉支援員募集!!!

地域に根差した社協の中の、笑顔がいっぱい!和気あいあいの楽しい職場です!

○就 労 先:サポートセンターはばたき(障害福祉サービス就労継続支援B型事業所)

○雇用形態:嘱託職員 ○仕事内容:支援員(利用者支援)

○給与:月額150,000円(+賞与、処遇改善手当あり)

○勤務時間:平日8時30分~17時15分(土日祝日休み)※必要に応じて出勤の場合あり

○その他:社保完備、退職金共済制度あり、福利厚生充実

○応募:電話連絡の上、履歴書持参。書類選考後、面接の可否をお知らせします。

○応募締め切り日:令和2年3月16日(月)

○連絡先:943-6251 サポートセンターはばたき(担当:金城)

御芳志

◆御芳志がありましたので、紙面にて紹介し深く感謝申し上げます。

- ◆ 一般寄付
 - ・合同会社琉 デイサービス孫の手 様より 3万円
 - ・千原区 野口 広行 様より 5万円
- ◆ 香典返し
 - ・小那覇区 新川 修 様より 5万円(故母 新川 芳子 様)香典返しとして
- ◆ 物品寄贈
 - ・沖縄ヤクルト株式会社 様より、ヤクルト180本
- ◆ 物資支援
 - ・カトリック普天間教会 様より(子ども服4袋)・美原第2学童クラブ 様より(大人、子供用タオルケット、子ども服)・匿名希望 様より(お菓子、シーチキン、だし昆布、お米5キロ、3キロ、うどん1箱、そうめん1箱、コーンビーフハッシュ1箱、匿名希望 様より(缶詰37缶、オリーブオイル3本)・匿名希望 様より(洗剤、シャワーキャリー、車イス、洗剤2個、マッサージ機、血圧計)

※上記の寄贈された物品は、見守り対象者や生活困窮をされている方へ配布しました。

◆ お元気ですか事業への野菜提供

- ・JA沖縄壮年部 様より(インゲン、キャベツ、ほうれん草)・匿名希望 様より(トマト、島人参、キャベツ)・教育懇話会 仲本良雄 様より(サニーレタス、リーフレタス(チマサンチ)・小波津区 城間 虎雄 様より(キャベツ、レタス)・(株)農業生産法人西原ファーム 様より(キャベツ、ネギ)

社協活動基本目標:わたしたちは、おもいやりいたわりあう心で住みよい福祉のまちをつくりましょう

